



## 中近東および北アフリカ

一部の国々で進歩が見られるものの、中近東および北アフリカの疫学的動向調査は限られたものとなっている (Obermeyer, 2006)。HIV に関する入手できる情報を用いて推定すると、2007 年に新たに HIV に感染した人々は 3 万 5 千人 [1 万 6 千–6 万 5 千人] とされ、累積数は 38 万人 [27 万–50 万人] とされる。エイズ関連の疾病により 2007 年には 2 万 5 千人 [2 万–3 万 4 千人] が命を落としたと推定される。

中近東および北アフリカ地域で報告される HIV 感染者数は現在も少ない。この地域で最も HIV 感染率が高いスーダンを除いて、HIV 感染者のほとんどが都市部の男性である。スーダンでは HIV 感染の最も重要な危険要因は安全でない異性間の性行為である。

無防備な買春がこの地域の HIV 感染の主な要因だが、アフガニスタン、イラン、リビア、チュニジアでは汚染された注射器による薬物注射が主な HIV 感染経路であり、アルジェリアやモロッコ、シリアなどでも薬物注射が HIV 感染の一因となっている。